

平成30年度事業報告

I はじめに

平成30年度は、中期計画の最終年度となりましたが、景気は緩やかな回復基調が続いており、市内民間企業や個人家庭からの受注の伸びが若干見られ、請負と派遣を合わせた契約金額は前年度を上回りました。また、会員数については、全国的に定年延長や継続雇用、人手不足などの影響により、新規入会者数は伸び悩んでいる状況にあるものの、様々なPR活動に努めたことにより、ここ数年続いた減少傾向に歯止めがかかり、全体の会員数は増加に転じました。

このような中で取り組んできた平成30年度の主な事業の結果ですが、まず、会員数については、平成31年3月末現在654名で、前年度と比較して3名の増となりました。

受託事業（請負）では、受託件数が5,085件と前年度比で1.3%の増となり、契約金額は、前年度比8.9%減の214,666千円となりました。契約金額が大幅に減少した要因については、適正就業の推進による契約内容の見直しを行い、受託事業（請負）から派遣事業へ切り換えたことがあげられます。公民比については、公共が41.7%、民間が58.3%となり、前年度比で公共が6.0ポイント減となりました。就業実人員は、前年度比6.4%減の516人、就業率は、前年度比5.7ポイント減の78.9%となりました。

一方、派遣事業については、受託件数が8件と前年度比で14.3%の増となり、契約金額では、前年度比126%増の48,207千円、就業実人員は、前年度比27名増の59人となりました。

計画した事業については、役員や就業開拓委員、家事援助班、広報配布班等の職群班による就業開拓や会員の資質向上や技術を高めるための各種研修会、講習会の実施、安全・適正就業の推進などに取り組みました。

このほか、会員拡大の取り組みとして、入会希望者がセンターホームページで、シルバー人材センター事業を説明する映像等を確認し、「Web」上で入会申し込みを受け付けるシステム「Web入会チャンネル」の導入を開始したほか、「1人1会員入会運動」や「会員募集チラシ」の全戸配布などを実施しました。

さらに、地域貢献事業として、市内清掃ボランティア活動、小学校通学児童見守りボランティア活動などに取り組みました。

センターの運営に係る会議等については、総会、理事会をはじめ、総務、事業及び広報の各専門部会、地域班長会議、安全・適正就業推進委員会、女性部会、就業開拓委員会などを開催しました。

センター全体の運営に関しては、平成30年度は、「中期計画（平成26～30年度）」の最終年度でありましたので、平成31年度以降の新たな計画を策定するため、平成30年10月に策定委員会を設置し、会員アンケートの結果などを基礎資料として、現計画の検証を行い、将来のセンターのあり方を示した「第2次中期計画（2019年度～2023年度）」を策定しました。

Ⅱ 事業実績

1 会員の異動状況

平成 30 年度		平成 31 年 3 月末 会 員 数	前 年 度 比
入会者	退会者	654 人 (男 421 人 女 233 人)	3 人 (0.5%) (男 1 人 女 2 人)
74 人	71 人		
男 46 人 女 28 人	男 45 人 女 26 人		

2 事業実績

(1) 受託事業 (請負)

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	5,085 件 (公共 504 件 民間 4,581 件)	66 件 1.3%
契 約 金	214,666,778 円	△20,874,734 円 △8.9%
	公共 89,559,688 円 民間 125,107,090 円	
配 分 金	196,069,900 円	△18,983,654 円 △8.8%
就業延実人員	17,660 人	380 人 2.2%
就業延日人員	66,934 人	△4,194 人 △5.9%
公 民 比	41.7 : 58.3	公共△6.0pt 民間 6.0pt
就業実人員	516 人	△35 人 △6.4%
就 業 率	78.9%	△5.7 ポイント

(2) 労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	8 件 (公共 2 件 民間 6 件)	1 件 14.3%
契 約 金	48,207,305 円	26,876,457 円 126.0%
	公共 26,197,255 円 民間 22,010,050 円	
賃 金	36,231,333 円	20,339,831 円 128.0%
就業延実人員	587 人	324 人 123.2%
就業延日人員	6,419 人	3,187 人 98.6%
公 民 比	54.3 : 45.7	公共 54.3pt 民間△54.3pt
就業実人員	59 人	27 人 84.4%
就 業 率	9.0%	4.1 ポイント

Ⅲ 事業の実施状況

1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

(1) センターPRの強化

「シルバーだよりはむら」などの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 新規会員獲得運動	会員増強のための「1人1会員入会運動」事業を実施した。	新規入会キャンペーンとして、平成30年5月～平成30年10月まで「1人1会員入会運動」を実施した。実績9名
② 『シルバーだよりはむら』『女性部会だより』の発行	『シルバーだよりはむら』 会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月 『女性部会だより』 市内全戸配布…9月 会員・発注者向け…3月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
③ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施	9月8日、9日実施 参加者719名	市民との交流を図るとともに、シルバー人材センター事業への理解とPRに努めた。
④ 市などが主催するイベント等への参加	チューリップ祭り 4月6日～25日 産業祭 11月3日、11月4日	シルバー人材センター事業の紹介やPR活動を行いつつ、就業開拓や会員の入会の促進を図った。
⑤ 市広報等への掲載依頼	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。	掲載延回数 8回
⑥ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せたPR活動の実施(新規)	市内清掃ボランティア(10/18参加者130名) シニアしごとEXPOに手芸班が出展した。(10/3 新宿会場、10/18 立川会場) シルバー人材センター写真展出展(10月 東京しごとセンター)	『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋がりました。
⑦ 「会員募集チラシ」の全戸配布の実施	会員募集のPRをメインに、シルバー人材センター事業のPRを盛り込んだチラシを作成し、全戸配布(24,000部)した。(10/15)	「シルバー」の認知度を上げ、新規入会会員の増強を図り、全戸配布後の入会説明会には、多くの入会希望者が出席した。

(2) 入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
① 入会説明会の充実	毎月2回 1日・15日(基準日) (うち1回は地域で開催) 入会説明会 112名 (うち地域説明会出席者 10名) 入会者 74名 (うち地域説明会出席者 6名)	羽村市 SC 用の入会説明会用 DVD を使用するとともに、会員の体験談などを加えて実施した。なお、「就業承諾書」を利用し、わかりやすい説明になるよう努めた。 また、平日来所できない入会希望者向けの入会説明会土、日曜日開催については、「Web 入会チャンネル」を導入したことから、実施を見送った。
② ホームページでの仮入会の受付(新規)	平成31年1月よりホームページからの「Web 入会チャンネル」の運用を開始した。 (実績 4人 内入会 2人)	※「Web 入会チャンネル」入会希望者がセンターホームページで、シルバーの主旨やシルバー事業を説明する映像等を確認し、「Web」上で入会申し込みを受けつけるシステム。後日、センターにて職員との面接を行う。

(3) 就業相談の充実

事業名	実施結果	備考
① 就業相談の充実	毎月2回 1日・理事会翌日(基準日) (うち1回は地域で開催) に役員による就業相談を開催した。相談者 39名 (うち地域開催出席者 0名)	
② タイムリーな就業情報を提供するシステムの導入と会員専用ページの充実(新規)	会員アンケートを実施し、その結果を踏まえ、就業情報提供システム「Smile to Smile」を導入した。 (平成31年1月～)	ホームページに関する会員アンケートを実施(5月～6月)し、就業情報をタイムリーに提供するための就業情報提供システム「Smile to Smile」を導入した。

(4) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓等

今後、受注が伸びると思われる福祉・家事援助、育児支援分野を推進し、女性の就業場所の拡大を図り、女性会員の増強に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 会員コーディネーターの設置	会員コーディネーターを2名設置(継続)した。	受注内容に適した会員をコーディネートし、家事援助事業の円滑な運営を図った。

事業名	実施結果	備考
② ワンコイン事業の推進	受注件数 56 件 就業延日人員 137 人日 福祉・家事援助サービス事業推進委員会が中心となり、シルバーワンコインサービス事業要領の見直しを行った。(9/26)	ワンコイン事業の対象世帯を「70 歳以上の高齢者で構成する世帯」から「65 歳以上の高齢者で構成する世帯」とし、対象世帯を広げることで、より一層のワンコイン事業の推進を図った。
③ 福祉・家事援助サービス事業推進委員会の開催	年 6 回開催	福祉・家事援助サービス事業を推進するための検討を行った。
④ 家事援助グループ会員交流会の実施	5 月 29 日開催 参加者 19 名 8 月 29・30 日開催 参加者 17 名 10 月 12 日開催 (女性部会合同) 参加者 29 名 1 月 30 日開催 参加者 31 名	家事援助事業実績報告、就業についての問題、悩み等の意見交換及び、会員相互の情報交流を行った。
⑤ 羽村市生活支援サービス事業の受託 (新規)	受注件数 3 件 就業延日人員 117 人日	

(5) 女性会員の増強

女性部会が中心となって、女性会員の増強につながる事業を展開しました。

事業名	実施結果	備考
① 女性会員交流会の実施 (新規)	10 月 12 日開催 参加者 29 名	参加会員をグループに分け、就業に関することを中心に活発な意見交換が行われ、新たな女性会員の交流の場として役立てた。
② 「ほっとカフェ」の実施	市民や会員の交流の場として、「ほっとカフェ」を下記のとおり実施しました。 売上 46,600 円 ※毎月第三火曜日 11:00~15:00	女性部会だより等で周知し、集客を図った。10 月までは女性部会委員で運営していたが、11 月からは新メンバーも加わり、新たな女性会員間の交流も生まれた。
③ 手芸講習会 (手芸班)	・「まりと犬の置物づくり」 6 月 13 日 参加者 2 名 ・「ダックスフントづくり」 8 月 22 日 参加者 10 名 ・「干支の置物・黄金のいのししづくり」 11 月 14 日 参加者 11 名 ・「十二支のつるし飾り」 2 月 25 日 参加者 15 名	市民、会員向けに手芸品作りの講習会を実施した。

事業名	実施結果	備考
④ ふれあい体験講座	「サボテン教室」 7月23日 参加者29名	会員の文化活動の推進を図るとともに、シルバーはむらふれあい祭りに作品を展示し、市民へPRした。
⑤ 健康講座	「健康講座～柔軟運動で体幹を鍛え、健康寿命を延ばしましょう～」 2月14日 参加者18名	太極拳の専門家を招き、立位による柔軟体操をメインに健康講座を実施した。転倒による事故防止と健康への意識の向上を図った。

2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

(1) 就業の開拓

事業名	実施結果	備考
① シルバー人材センター一般労働者派遣事業の推進	平成30年度より市から2件の受注があり、全体で8つの事業所で就業した。	受注件数 8件 就業延実人員 587人 就業延日人員 6,419人 契約金額 48,207,305円
② 就業開拓強化月間の推進	就業開拓強化月間を設定した。 7月、11月	強化月間では、役員等による企業訪問を行い、就業開拓に努めた。
③ 1会員1就業開拓運動の実施	実績1件	7月から12月を「1会員1就業開拓運動」のキャンペーン期間と位置づけ、全会員へ周知した。(7月)
④ 就業開拓員の配置	事務局に就業開拓員1名を配置した。	人手不足分野を中心に就業開拓を行った。
⑤ 女性会員を中心とした「園芸チーム」の設置	4月から「園芸チーム」として、受注を開始した。	4月から「園芸チーム」として、個人宅を中心に花壇の除草等の作業を受注した。また、5月に園芸チームの研修を実施し、会員間の情報共有・交流に努めた。(5月 8名参加)
⑥ 既受注先への受注拡大	役員、就業開拓委員、職員による既受注先訪問を行ったが、受注には至らなかった。(12件)	

事業名	実施結果	備考
⑦ 新規受注先の開拓	<ul style="list-style-type: none"> ・羽村市産業祭で、PR チラシ (2,600 枚) を配布した。(11 月 3 日、11 月 4 日) ・あおぞら保育園へシルバーリーフレットを備置した。(11 月) ・派遣事業を踏まえた企業訪問を役員、就業開拓委員が行った。 (7 月・3 事業所・電話 5 社、8 月・3 事業所、11 月・5 事業所、12 月・1 事業所・電話 1 社、2 月・4 事業所・電話 1 社) ・求人情報調査のため、ハローワークに足を運んだ。 (3/27) 	役員・地域班による PR チラシ配布、女性部会委員による保育園訪問、就業開拓委員による事業所訪問等、新規受注先の開拓を行った。
⑧ 就業開拓委員会の開催	<p>シルバー人材センター一般労働者派遣事業実績の増加に合わせ、より一層の会員の就業機会の拡大を図るための検討を行った。 年 4 回開催</p>	会員の多様な働き方に対応した就業先の確保とシルバー事業の拡大のため、他センターの派遣事業実績の分析や、ハローワークの求人情報を調査分析した。

(2) 就業のアンマッチの解消

会員の希望業種と利用者の受託業務のアンマッチを解消するため、就業機会の確保及び新たな就業機会の創出に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 技能講習会の実施	<p>「襖・障子張替え講習会」 2 月 18 日 参加者 8 名</p>	技能系職種に関する知識・技能を後継会員への継承のための講習会として位置付けた。
② 事務系職種の就業拡大・開拓	<p>就業開拓員を中心にハローワークや新規発注先、既発注先に継続的に出向いたほか、電話での就業開拓も行ったが (23 事業所)、事務系職種の受注実績には至らなかった。</p>	
③ 人材情報バンクの活用	<p>職員との入会面接時に新入会員の資格情報を聞き取り、業務システムに登録し、併せて東京しごと財団が運営する「人材情報バンク」へも資格情報の提供を行った。(11 月)</p>	会員の資格情報の整備を行ったことで、各会員の資格情報を把握することができ、就業開拓にも役立てた。

事業名	実施結果	備考
④ 家庭内清掃研修	「ハウスクリーニング研修会」 ～掃除機のかけ方・雑巾の使い方など、マナーを含むお掃除のパフォーマンスを学ぶ～ 11月2日 (午前・午後2回開催) 参加者24名	就業会員を講師とし、家事援助サービス就業会員を対象に研修を行った。家事援助サービス就業会員の技術向上を図った。
⑤ 接遇研修	10月17日 参加者20名	お客様のより一層の満足度の向上を図るため、専門講師による接遇に関する研修を実施した。

(3) 自主事業

① 各種教室

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

事業名	実施結果	備考
① パソコン教室	受講者 延449名 (H29 延449名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
② 生花教室	受講者 延251名 (H29 延304名)	「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
③ 学習教室	受講者 延170名 (H29 延160名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 理科・数学教室	受講者 延55名 (H29 延45名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑤ 着付け教室	受講者 延32名 (H29 延47名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑥ 絵手紙教室	受講者 延62名 (H29 延67名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑦ 英会話教室 (初級)	受講者 延133名 (H29 延98名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑧ 英会話教室 (中級)	受講者 延186名 (H29 延177名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑨ ならし英語教室	受講者 延96名 (H29 延6名)	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

事業名	実施結果	備考
⑩ 夏季教室 (理科・数学教室) (新規)	受講者 0名	市報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

②リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

事業名	実施結果	備考
リサイクルショップ「トコトン工房」の充実	販売点数 3,726点 (H29 3,217点) 売上金 1,399,400円 (H29 1,269,800円)	センターロビーにおいて、PRを行った。

3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しましたが、傷害事故8件、賠償事故3件が発生しました。

(1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催	5月23日、6月22日、9月21日、12月20日、2月5日 年5回開催	安全管理の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 財団等の安全対策会議との連携	第六ブロックの「安全就業研修会」に参加した。 9月5日 参加者 3名 東京しごと財団が実施した「シルバー人材センター安全大会」において、当センターが「平成30年度安全就業優良センター」に選出、表彰され、安全に関する取り組み事例を発表した。 9月28日 参加者4名	事故ゼロを目標に、東京しごと財団や第六ブロックのセンターと様々な機会を捉えて、連携を図った。

(2) 安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 安全標語の募集	4月実施 応募点数 52点 12月実施 (連合) 応募点数 56点	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示すると共に、配分金明細書にも同封し、安全就業の啓発に努めた。

事業名	実施結果	備考
② 「ヒヤリハット体験」の募集	7月、2月 応募点数 29点	危険情報の共有化を図り、事故防止に役立てるために募集を行った。
③ 安全就業強化週間等の実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・安全就業強化週間…毎月1日～7日に立看板の掲出 ・安全強化月間朝礼…7月2日 ・交通安全運動…4月、9月にのぼり旗等の掲出、事務局日より(9月号)に掲載 	会員の就業中及び就業途上等の事故防止、安全意識の高揚を図った。
④ 各種講習会・講座の開催等	<ul style="list-style-type: none"> ・熱中症対策セミナー 6月27日開催 参加者143名 ・体力測定 10月30日開催 参加者28名 ・転倒予防講習会 11月29日開催 参加者34名 ・自転車交通安全講習会 1月29日開催 参加者21名 ・応急救護講習会 2月25日開催 参加者16名 	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。
⑤ 危険予知訓練の実施	7月30日開催 参加者37名	東京しごと財団から講師を招き、事故や災害を未然に防ぐことを目的に、その作業に潜む危険を予知し、指摘しあう危険予知訓練を実施した。
⑥ 機械・器具類の安全操作及び整備点検講習会と作業用機械器具点検表を用いた一斉点検の実施及び管理(新規)	<ul style="list-style-type: none"> ・刈払機作業従事者安全衛生教育講習 6月21日開催 参加者1名 ・チェーンソーの正しい使い方研修 7月6日開催 参加者16名 ・植木班と除草班による作業用機械器具点検表による一斉点検の実施 (7月・1月) 	専門講師による講習会に参加したほか、センターで講習会を開催しました。また、植木班と除草班が作業用機械器具点検表を用いた機械器具の一斉点検を行い、作業用機械器具等の経年劣化及び点検不備に起因する事故の未然防止に役立てた。
⑦ 作業別安全就業基準の見直し(新規)	今年度は見直しを行わなかった。	

事業名	実施結果	備考
⑧ 安全帽、安全帯、梯子・脚立の点検表及び廃棄基準の作成	就業中の作業器具等の経年劣化による事故を防止するため、点検表を作成した。また、脚立等の機械器具の一斉点検に基づき、不良個所がある機械器具について廃棄を行った。	定期的な点検表による点検と機械器具の一斉点検を続けることにより、常に会員に作業器具等の劣化を意識させ、事故防止に役立てた。
⑨ 安全・適正就業巡回	4月20日、5月25日、6月13日、7月19日、9月25日、10月26日、11月8日、12月13日、1月24日、2月13日 10回実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。
⑩ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行	6月(第15号)、7月(第16号)、10月(第17号)、1月(第18号)、2月(第19号)発行	会員向けに「安全・適正就業推進委員会だより」を発行し、安全・適正就業の推進や、事故防止等の喚起を促した。
⑪ 適正就業意識の啓発	安全・適正就業巡回時に、会員及び発注者に対し、安全就業のチェックと呼びかけ及び適正就業の点検を行った。	今年度も引き続き、厚生労働省が作成した「適正就業ガイドライン」に基づき、適正就業について会員及び発注者に説明し、適正就業意識の啓発に努めた。
⑫ SOSカードの携帯の徹底	安全・適正就業巡回時にSOSカードの携帯の確認及び新入会員説明会での配布を行った。	
⑬ 「作業中」安全表示の製作(新規)	植木剪定・除草・トイレ清掃・自転車整理・家事援助用の「作業中」安全表示を製作した。(7月)	作業を始める際に、「作業中」安全表示を使用することで、内外に安全周知・啓発を行い、事故防止に役立てた。
⑭ 就業前体調確認の実施(新規)	SOSカードに就業前体調確認等の自己点検項目を盛り込んだ。(3月)	各会員がSOSカードを使って就業前の体調を確認し、体調不良を起因とした事故の未然防止に役立てた。平成31年度から新書式のSOSカードを配布予定。

4 就業の改善

(1) 未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 新規就業希望会員説明会の開催	・継続就業希望会員説明会 …1月10日、11日実施 (参加者18名)	未就業会員を対象とすることで、公平な就業機会の提供に努めた。
② 役員による就業相談(再掲)	毎月2回1日・理事会翌日15日(基準日)(うち1回は地域で開催)に役員による就業相談を開催した。相談者39名(うち地域出席者0名)	
③ 新入会員研修	毎月1回 参加者69名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。
④ 就業情報等を速やかに会員へ提供するシステムの導入(新規)	会員向けクラウドサービス『Smile to Smile サービス』を導入した。(1月～)	平成31年1月中旬と2月中旬に『Smile to Smile サービス』の導入周知と利用登録を推進するためのチラシを全会員へ配布し、退会防止と未就業会員の就業率の向上を図った。
⑤ 未就業会員の減少のための調査・分析の実施(新規)	各職群班において、年齢を重ねた会員でも無難に就業できるよう、1つの就業に対する分業化を検討し、未就業会員の減少の検討を行った。	植木剪定作業について、「剪定専属会員」、「剪定屑回収専属会員」と区分し、比較的高齢の会員や植木剪定技術が未熟な会員でも、植木剪定班で就業できるように分業の検討を行った。
⑥ 事務局だよりの発行(新規)	毎月の配分金明細書送付に合わせ、「事務局だよりの発行し、よりタイムリーな情報を会員へ提供した。	毎月発行を生かして、タイムリーな就業情報をタイムリーに全会員へ提供し、会員の満足度を上げ、退会防止と未就業会員の解消を図った。

(2) ワークシェアリングの推進

発注者及び会員の理解を得ながら、出来るだけ多くの会員に就業の機会が得られるようワークシェアリングの推進に努めました。

事業名	実施結果	備考
ワークシェアリングの推進	年間3名の就業人員増を図った。	ワークシェアリングを推進する為、発注者と会員に理解・協力を求め、調整を行った。

5 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

事業名	実施結果	備考																					
① 市内清掃ボランティア活動	第1回 6月14日実施 参加者 155名 第2回 10月18日実施 参加者 130名	会員による市内清掃ボランティアを行った。第2回は、東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に合わせて実施した。																					
② 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の活性化	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 (週1回～5回) 実施小学校：羽村東小学校、羽村西小学校、富士見小学校、栄小学校、小作台小学校	見守りボランティア活動を支援する為、助成金を4月に交付した。 ◎各地域班の活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1班</td> <td>18名</td> <td>331名</td> </tr> <tr> <td>2班</td> <td>11名</td> <td>296名</td> </tr> <tr> <td>3班</td> <td>4名</td> <td>152名</td> </tr> <tr> <td>4班</td> <td>13名</td> <td>849名</td> </tr> <tr> <td>5班</td> <td>13名</td> <td>180名</td> </tr> <tr> <td>6班</td> <td>8名</td> <td>155名</td> </tr> </tbody> </table>		実人員	延人員	1班	18名	331名	2班	11名	296名	3班	4名	152名	4班	13名	849名	5班	13名	180名	6班	8名	155名
	実人員	延人員																					
1班	18名	331名																					
2班	11名	296名																					
3班	4名	152名																					
4班	13名	849名																					
5班	13名	180名																					
6班	8名	155名																					
③ 市事業等へのボランティア協力の検討	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。	事務局だより(第3号)に「放課後子ども教室 はむらっ子広場支援ボランティア募集」の記事を掲載した。(6月)																					
④ 保育園及び幼稚園への地域貢献活動	女性部会長が誕生日会にバルーンアートを披露した保育園を訪問し、女性部会委員が持ち寄ったバスタオルを寄付した。 11月																						
⑤ 女性会員活動啓発のためのボランティア活動	女性部会が中心となり、市内保育園の誕生日会に出向き、バルーンアートの披露とプレゼントを行うボランティア活動を行った。 10月24日 5名訪問	地域貢献と女性会員の生きがいの充実を図るとともに、シルバー事業のPRにも役立てた。																					

6 財源の確保

自主財源確保のための高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金の活用を図ったほか、受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金」の確保	東京しごと財団を通じて、「高齢者活用・現役世代サポート事業補助金」の申請を行った。 交付決定額 2,000 千円	
② 「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の確保	東京しごと財団へ、「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の申請を行った。 交付決定額 2,900 千円	
③ シルバー派遣事業の実施	シルバー派遣事業実施に伴い、羽村派遣事業所を設置し、東京しごと財団と事務委任契約を結び手数料収入を得た。 (5,018,265 円)	
④ 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進	節電の実施や業務委託契約の見直しを行い、経費節減に努めた。	

7 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

(1) 理事会、各部会、委員会等の開催

事業名	実施結果	備考
① 定時総会	平成 30 年 6 月 27 日開催 ゆとろぎ小ホール	平成 29 年度決算について決議した。
② 理事会	年 13 回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
③ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。
④ 女性部会	年 8 回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。

事業名	実施結果	備考
⑤ 福祉・家事援助サービス事業推進委員会	年6回開催	福祉・家事援助サービス事業を推進するための検討を行った。
⑥ 地域班連絡員会議	年1回開催	年会費の集金や地域会員との調整を行い、地域における会員間の交流を図った。
⑦ 地域班長会議	年4回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。
⑧ 中長期計画策定委員会	年6回開催	第2次中期計画（2019年度～2023年度）を策定し、第13回理事会にて承認された。
⑨ 就業開拓委員会	年4回開催	シルバー人材センター一般労働者派遣事業の開始を踏まえ、派遣による会員の就業機会の拡大について検討した。
⑩ 仕事別グループ班リーダー会議・仕事別グループ連絡会	随時	仕事別グループ班リーダー会議を植木班・除草班・自転車整理班・家事援助班・手芸班で行い、情報共有に努めた。
⑪ 会員参画の運営	会員参画の運営に関する「アイデア募集チラシ」を全会員に配布した。（12月）	会員2名から3件の提案があり（3月）、総務部会と事業部会で検討することとした。

（2）地域班への支援・地域班交流事業の実施

会員とセンターとの情報交換、地域社会でのセンターのPR活動、会員相互の親睦と交流等を円滑に行えるよう支援しました。

事業名	実施結果	備考
① 地域班活動への支援	地域班活動をより活性化するため、地域班助成金及び通学児童見守りボランティア助成金を4月に交付した。	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
② 地域班交流事業の実施	地域班交流事業「わなげ大会」を行った。 2月8日（金） 参加者55名	地域班交流事業を通じて、各地域班及び会員間の交流をより深め、会員相互のつながりを一層強固なものにした。

（3）専門部会設置要綱等の改正の検討

各部会・各委員会が行っている事業について、重複している事業があるため、より効率的な運営を図ることができるよう専門部会設置要綱の改正を検討した。

事業名	実施結果	備考
① 専門部会設置要綱等の改正の検討（新規）	専門部会設置要綱の改正について総務部会で検討し、第11回理事会で承認された。	

